

一般質問

- ・国民健康保険制度について
- ・大産業まつりについて
- ・原発問題（甲状腺がん）について



清水澄夫

問

国保税は全国的に高すぎるため死活問題になりつつある。27年度は、一人当たり11万円以上で、10世帯に1世帯が滞納となる。この数値をどう受け止めるのか。また、30年度からの広域化により滞納者が更に増えることも考えられる。その点の対応策はあるのか

答

国保税は、その時々状況に応じ税率を改正しています。被保険者には、健康保険制度は相互扶助の仕組みであることを理解していただき、納付をお願いしています。収納対策も不公平感が生じないよう引き続き努めます。また、30年度は、激変緩和措置により、大きな変動にはならないと考えています。今後も健康づくりなどにより、医療費の抑制に努めながら、継続して収納率向上にも取り組んでいきます。

問

大産業まつりは成功裏に終わったが、この大産業まつりを開催する意義はどこにあると

思うか。また、市役所正面に自衛隊車両や警察車両を並べていたが、大産業まつりの主旨にそぐわないのではないかと

答

最新の地域産業の情報発信や地場の特産品の魅力を紹介し、市内の農水産業・商工業に市民の理解を深める目的で開催しています。また、自衛隊車両、警察車両の展示は、違和感はなく、安心・安全の基盤をアピールできていると思います。

問

福島第一原発事故の影響で、子供の甲状腺がんが非常に増え、現在150名が甲状腺を切除したと報道された。原発立地市としてどう思うか

答

甲状腺検査評価部会は、「放射線の影響とは考えにくい」と評価していますが、今後も長期にわたり情報集積のため甲状腺検査を継続していくべきであるとしています。市としては、引き続き調査結果を注視してまいります。

委
員
会
報
告

一般会計予算決算審査
特別委員会

平成29年12月12日に委員会を開催し、意見書を付して原案のとおり可決すべきものとして決定しました。

議案第66号「平成29年度御前崎市一般会計予算の補正（第4号）」について

【健康づくり課】

浜岡健康センター改修については、利用目的などを十分協議して有効活用をはかるよう求める。

【商工観光課】

企業誘致の優遇制度に関しては、当事者意識を自覚し費用対効果のある制度改正を求める。

原子力対策
特別委員会

平成29年12月13日に委員会を開催し、内容は次のとおりです。

催し、内容は次のとおりです。

1 ヒューマンエラー防止に向けた取り組みについて

近年、発電所において、ヒューマンエラーに起因するトラブルが発生していることから、ヒューマンエラー撲滅に向けた「意識面」や「現場管理面」などの取り組みについて報告を受けました。

2 4号機適合性確認審査の状況について

4号機は、平成26年2月14日の申請以降、82回の審査会合を実施しています。新規基準を踏まえ安全性向上対策工事についても並行して実施中です。3月には地質関係の現地調査があり、7月には原子力規制委員会が、発電所を視察し、一定の進捗はありましたが、思うようなペースで進んでいないと報告を受けました。

総合開発計画策定
特別委員会

平成29年12月13日に委員会を開催し、内容は次のとおりです。